

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. 招集について

(1) 招集所は**第2ゲート付近**と設置する。招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

(2) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに第2ゲート付近に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- ③競技への出場をやむを得ず棄権するときは、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。

3. TR5 競技用靴の対応について

本大会はTR5.2 (TR5：競技用靴)を適応する。

4. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) 時間による最後の1枠に同成績がいる場合、写真判定主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とする。空きレーンがあるか、走る場所がある(800m競走でレーンに複数割り当てる場合を含む)のであれば、同成績者は次のラウンドに進めるようにしなければならない。不可能なら、次ラウンドへの進出者は抽選により決める。〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.3〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。
- (7) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (8) 競技者は助走や踏切をしやすくするためにマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (9) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔TR25.3.3〕
- (10) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

5. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブスは通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

6. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競 技			
走 高 跳	男子	1m35	1m40 ~ 1m65	5 cm ずつ	1m68 以上	3 cm ずつ
	女子	1m15	1m20 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいない。

8. ウォーミングアップについて

- (1) 別紙の【サブグラウンド 使用について】を参照すること。
- (2) 競技場南側のサブグラウンドでのみ行うこと。使用に際してはオールウェザー及びその中の土の部分を使用すること。(遊具やベンチは使用しない) オールウェザーではジョギング・流し・スパイクを履いたスピード練習、土の部分は基本ドリルなどの練習で使用すること。
- (3) ハードル練習はメイン競技場で行う。
※時間は、女子はホームストレートで開門から8：30、男子はバックストレートで開門から9：30とする。
※個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、メイン競技場以外でのハードル練習は一切禁止する。
- (4) サブグラウンドでメディシンボールを使つてのアップは可とする。

9. 競技場使用について

- (1) 別紙の【ウイック陸上競技場 使用について】を参照すること
- (2) **ウイック競技場はニードルピンのスパイクは使用できない。**
- (3) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
- (4) 選手・役員以外はスタンドのみ利用可とする。
- (5) 本部前の通行は一切禁止する。ただし、走幅跳・三段跳の選手のみ通行可とする。
- (6) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自・各チームで持ち帰ること。
- (7) 選手が競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子機器の使用・撮影を行わないこと。
- (8) 更衣室の利用は可とする。「短時間・少人数」を心がけること。
場所は100mスタート付近、用器具庫と併設されている。
- (9) 横断幕は第1～第3ゲートまでに設置できる。
- (10) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。

10. 兵庫リレーカーニバルの出場について

- (1) 本記録会において、ハードル32名、長距離30名、フィールド種目24名を推薦する。
- (2) 顧問は選手の出場意思を確認しておき、各種目終了後、大会本部で顧問が申込みを行うこと。
- (3) 出場辞退者が出た場合は、繰り上げ推薦をするので注意すること。

11. 競技による入退場について

競技役員の指示に従うこと。その際、競技の妨げにならないようにすること。

12. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) **各自の出場種目の時間に合わせて来場し、競技を終えた者は速やかに帰路につくこと。**
ただし、各校・各チームの引率状況において、待機も可とする。また、各校・各チームとしての場所取りは可とするが、最小限に努め、他チームと譲り合つて待機すること。
- (3) **競技場周辺(園地)での場所取りや、待機場所としての使用を禁止とする。**
- (4) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (5) 適宜コロナウィルス・インフルエンザ等感染防止に努めること。
- (6) リザルトはWebで掲載し、メインスタンド裏通路に掲示する。

- (7) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校・各チームの責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。(地域クラブ活動は除く)
- (8) 関係者以外のカメラ、ビデオでの撮影を禁止とする。場合によっては、目的、身分を確認する場合がある。
- (9) 競技会当日、午前6:00に姫路市に気象警報(波浪以外)が発令された場合、その日の競技は中止とする。
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。